

## 令和2年度わがまち学習講座 実施報告書

### <開催目的>

平成30年度、令和元年度のわがまち学習講座では、SIM（まちづくりシミュレーションゲーム）等を実施して市政を『知る』ことから関心を持つきっかけづくりとしていました。今年度の講座では、『知る』から『なぜ』に一步進め、今後の地域参加の意欲を喚起するものとし、近隣の地区ごとにグループとなり「地域カルテ」を作成する講座としました。「地域カルテ」とは、地域の特性を示すデータをまとめ記録したものです。

また、市内全域に広く参加を呼びかけ、様々な地域の住民が地域のデータに触れ、地域目標策定に向けて、ともに対話し、交流することで、今後、地域委員会構想を市全域に広げた時に、他の地域から参加している市民が「担い手の種」となることを目指します。

### <実施概要>

事業名	わがまち学習講座「私たちの地域のこれからを考える！『地域カルテ』をつくってみよう」
開催日	≪第1回≫令和2年12月12日（土） ≪第2回≫令和3年3月14日（日）※1月17日から延期としました
時間	14:00～17:00
場所	関戸公民館 大会議室
テーマ	≪第1回≫ どんなデータが必要か話し合ってみよう ≪第2回≫ 地域カルテ・ビジョンをつくってみよう
講師	大杉 覚氏（東京都立大学 法学部 教授／第七期 多摩市自治推進委員会 委員長） 小川 大介氏（地方自治研究機構 調査研究室長／第七期 多摩市自治推進委員会 副委員長）

### <申込者内訳>

申し込み者：38人

申込み経緯	人数
無作為抽出 ※全地区対象に2000通送付	24
公募（広報・HP）	5
過去受講者	6
エリアミーティング （企画課主催）参加者	3

### <参加者内訳>

第1回参加者：26人 第2回参加者：19人

性別	第1回	第2回
男性	12	11
女性	14	8

年代	第1回	第2回
10代	6	4
20代	3	0
30代	2	3
40代	3	1
50代	9	9
70代	3	2

### <グループ地区内訳> ※当日の人数調整のためFグループは無くなりました

グループ	A	B	C	D	E	G
地区	連光寺 聖ヶ丘	馬引沢 諏訪	諏訪・永山	聖ヶ丘・南野・ 落合・鶴牧	桜が丘・和田・ 落川・東寺方	関戸

<第1回プログラム>

- ① 「地域カルテ」に関する講義（講師：大杉氏）  
「地域カルテ」とは何か、他市の活用事例等をお話いただきました。
- ② ワークショップ（ファシリテータ：小川氏）  
グループごとにわがまち（自分の住む地域）の自慢や困りごと、地域カルテ作成に必要なデータを話し合っていました。
- ③ 発表・講評  
最後にグループごとに発表し、講師やファシリテータから講評をいただきました。



<第2回プログラム>

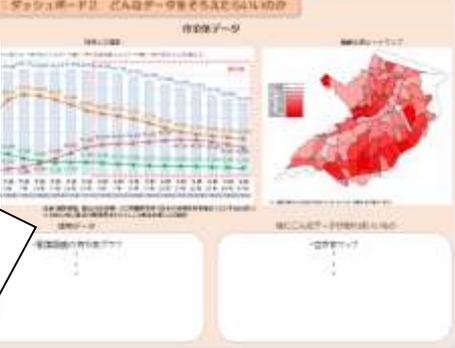
- ① 第1回の振り返り（ファシリテータ：小川氏）  
第1回講座のグラフィックレコーディングを用いて、振り返りを行いました。
- ② ワークショップ（講師：大杉氏）  
講師からワークの説明をいただき、各グループにファシリテータが入り、以下のワークシート4枚を用いた「地域カルテ」の作成を行いました。

**【シート1】**  
第1回講座のワークで実施した自分の地域の自慢や困りごとマップを振り返り、現状と理想を考えました



**【シート2】**  
地域の人口等の基礎データや、地域活動参加状況等の意識調査データを見て、地域の特徴を確認しました

**【シート3】**  
シート4の未来ビジョンを考えるうえで必要なデータを考えました



**【シート4】**  
シート2・3のデータに基づいて、未来ビジョンを実現するためのプロジェクト等を記載しました

**【シート4】**  
シート2・3のデータに基づいて、未来ビジョンを実現するためのプロジェクト等を記載しました

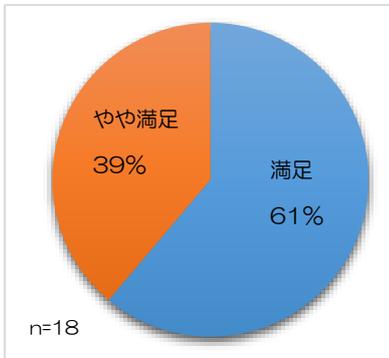
③ 発表・講評

②で作成した「地域カルテ」を用いて、グループごとに発表及び講師による講評を行いました。

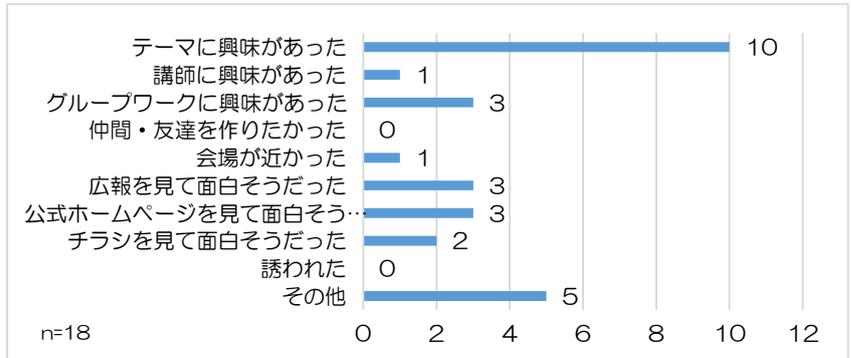


<アンケート結果>

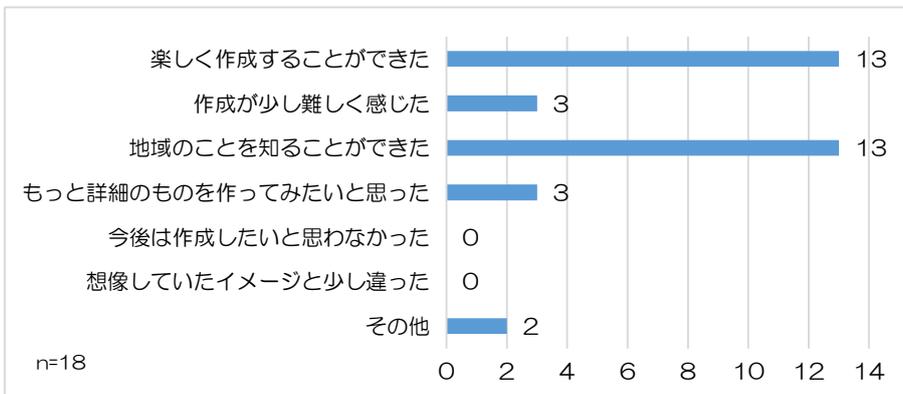
① 満足度



② 本講座に参加した理由（複数回答可）



③ 講座に参加して、「地域カルテ」についてどう思いましたか（複数回答可）



④ 感想（アンケートの内容から一部抜粋・原文掲載）

- ・ファシリテータが各チームに参加されていたのは、名案だと思いました。非常に議論がスムーズに進み、良い機会になりました
- ・グループワーク形式は、いろんな世代の人の話が聞けて大変勉強になりました
- ・市外に勤務しているため、自分のまちについて、全く知識が無く大変勉強になった
- ・案内が家に届くまで、全く知らなかったことなので、もっとこのようなイベントもPRできたらしいのかなと思いました
- ・今回、話したことがなにか動いたりすると楽しいなと思いました
- ・もう少し事前に進め方や導き出す結論のイメージをわかりやすくレクチャーしてほしい
- ・WEBで多くの人が視聴でき、意見を出し合える方法もあるのではないかな